

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「BUILD UP（ビルドアップ）」は、株式会社徳川組が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「BUILD UP（ビルドアップ）」を宜しく願いいたします！

【発行元】

株式会社徳川組

〒370-0614

群馬県邑楽郡邑楽町赤堀1 1 1 1

TEL：0276-88-2020

働きやすさを高める「工場・倉庫の職場環境づくり」

—— 換気・照明・動線を見直し、安全で快適な職場へ

9月は10月の「全国労働衛生週間」に向けて、職場環境を見直す準備期間です。

工場や倉庫では、熱気や粉じん、暗い作業場所、複雑な動線が、従業員の負担や事故のリスクにつながります。

今回は、安全性と作業効率を高めるための「職場環境づくり」を解説します。



1. 健康と作業効率を守る「換気・照明」の見直し

工場や倉庫では、建物の広さや設備の配置によって空気や光が行き届かず、作業環境が悪化することがあります。

① 給気と排気を組み合わせた換気計画：

換気扇を設置していても、外気を取り込む給気口が不足していると、熱気や粉じんを十分に排出できません。発生源の近くから排気し、反対側から新鮮な空気を取り込むことで、建物内に空気の流れをつくります。

② 作業場所に合わせた照明の確保：

棚や機械設備によって光が遮られると、通路や作業台の周辺に暗い場所が生まれます。照明器具の増設やLED化、新築・増築時の採光計画によって、作業内容に適した明るさを確保することが重要です。

換気と照明は、快適性だけでなく、従業員の健康や作業精度を守るための重要な建物機能です。

空気と光が建物全体に届いているかを確認しましょう。

2. 事故と作業の無駄を減らす「動線」の整理

工場や倉庫では、従業員、フォークリフト、トラックが同じ場所を行き交います。動線が交差すると、接触事故や作業の停滞が起こりやすくなります。

① 歩行者とフォークリフトの通路を分ける：

床のラインだけでなく、ガードパイプや柵を設置して通路を物理的に分離することで、接触事故を防ぎます。新築やレイアウト変更時には、人と車両の動線ができる限り交差しない配置を計画します。

② 搬入・保管・出荷の流れを整える：

入荷品と出荷待ちの商品が混在すると、荷物の移動回数が増え、作業効率が低下します。各スペースを明確に分け、一方向に荷物が流れるレイアウトにすることで、移動距離や待ち時間を削減できます。

安全な動線をつくることは、事故の防止だけでなく、作業効率の向上にも直結します。

人・車両・荷物の流れをまとめて見直すことが重要です。

まとめ：

換気・照明・動線を見直し、安全で快適な職場環境を整えることは、人材の定着や生産性の向上につながります。現在の課題を確認し、改修・増築・新築など、自社に合った方法で改善を進めましょう。

工場・倉庫改修に使える
お得なお役立ちレポート↓



工場・倉庫改修専門店「BUILD UP(ビルドアップ)」

(お問合せ窓口：渡辺)

TEL：0276-88-2020

〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀1111